

発行日：令和元年11月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

◆市長と大学生がまちづくりを語る会が開催されました！

つくば市では、今後10年間の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市長と筑波大学学生の皆さんがまちづくりについて意見交換をする懇談会を開催しました。

市長と筑波大学学生との懇談会の連携企画として開催された今回は、筑波大学学生の皆さんから貴重な意見をたくさんいただいたのでご紹介します。

日時：令和元年9月30日（月）18:00～20:30

会議場所：筑波大学大学会館レストランプラザ 筑波デミ

参加者：33名（事務局含まず）



◆主な意見交換内容

1. 市長から大学生への質問

市長から大学生の皆さんに「つくば市に住みたい？」と質問が投げかけられ、大学生の皆さんから市長に生の声が伝えられました。

● つくば市に住みたい

- ・ 筑波スタートアップパークなどで盛り上がり、シリコンバレーのような未来を期待する。ベンチャー企業を立ち上げたいと考えている。
- ・ 駅前で交流会などがあり活気がある。東京は人が多いが、つくばから電車で通勤できる。
- ・ 東京で買物するのが好きだが、家賃が高いのでつくばに住む。

● 条件次第でつくば市に住みたい

- ・ 博士課程でセンサーの研究をしているが、市内に就職先がない。就職先があれば市内に住みたい。
- ・ 来年から東京の会社で働くことになった。東京はストレスが多いが、つくばは豊かな生活ができる。葛藤がありつつ、東京しか希望の会社がなかった。将来起業すれば、つくばに戻ってくる選択肢はある。
- ・ 兵庫の淡路島出身だが、神戸に通勤する場合は住宅補助が出る。TXは運賃が高いので、つくば市でも住宅補助があれば定住人口が増えるのではないかと。東京はキラキラしているイメージがあり働きたいまちである。

● 東京に住みたい

- ・ 社会人になったらマリンスポーツを始めたいと考えているが、東京はコミュニティやサークルに多様性があり、魅力的である。
- ・ 東京は、文化的に豊かであり、住みたいと思う。小さい映画館や書店、コンサートなど、東京にしかない文化資本が魅力である。
- ・ 医者を目指しているが、東京では成長できる気がする。東京で働き学びたい。また、教育環境も高いレベルにあり、子どもも切磋琢磨し人脈を広げながら成長できるため、将来も東京に住みたい。



◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111/FAX 029-828-4708

*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課のメールアドレス（pln010★city.tsukuba.lg.jp）まで（なお、メールアドレスの★は、@記号に置き換えて下さい）

2. テーブルワーク

- ・ 交通網の発展を期待する。例えば、つくばから水戸に行く電車があるとよい。
- ・ TXで東京に行くことが前提になる。つくばに友達が来て遊ぶ時は、つくば山くらいしか見所がないため、家で過ごすことになる。つくばで遊べる場や仕事の場があるとよい。
- ・ 今は科学のまちだが、例えばパンづくりやペットに詳しい人など、みんなが先生になりコラボレーションできるような開かれたまちになってほしい。USJはかつて映画専門だったが、総合エンタメに転換しV字回復した。
- ・ つくばは車がないと不便だが、子育てにはよいまち。また、完成されたまちではないため、市民に開かれアイデアをまちづくりに活かせるところがよいまちである。
- ・ スタートアップパークだけでは、人は集まらない。東京には大企業があるが、つくばに誘致しないのか。



3. 大学生から市長への質問

大学生の皆さんから市長へ質問や意見をいただきました。また、いただいた意見に対し、市長から今後のつくばのまちづくりについてお話しいたしました。

大学生からの主な質問・意見（一部）

- ・ 政策を継続していくためには、市長が選挙に勝ち続ける必要があるが、市民が求めることとの違いは感じるか。
- ・ つくば市は、何もなかった場所に都市がかぶさってきた。畑などが広がる周辺市街地の奥などは中心部と考えが違うと思うが、バランスをどうとっていくか。
- ・ ビジョンはカッコいいが、来年、再来年の事業として何ができるか。
- ・ 市長の情熱の源は何か。
- ・ 比較すべきなのは土浦や千葉県内の都市であり、東京ではない。まちが発展するにつれ、つくばのオリジナリティがなくなる。ライバルと考える都市はどこか。
- ・ つくばには昼間からお酒を飲んでいるような人がおらず、近寄りたたいイメージがある。多様性を受け入れるまちになってほしい。
- ・ 一人一人ができることは何か。まちづくりにどう関わっていけばよいか。

市長の回答・意見（一部）

- ・ 市長が誰であっても、世界から注目されるまちであってほしい。選挙に負ければ何もできなくなるが、市民が求めていると信じている。
- ・ 真ん中ばかり、科学技術ばかりと言われることもある。例えばセグウェイは周辺の人の方の需要があると考ええる。便利さがわかれば、時間はかかるが理解してもらえと思う。徐々に認識のギャップが縮むと思う。
- ・ スマホで事業にインターネット投票できるようにする。学生の投票率が上がると期待する。
- ・ つくばが好きである。ロンドンやパリに並ぶまちになれると思っている。つくばには国費も投資されており、人類の発展に貢献する使命をもったまちだと認識している。
- ・ 土浦からの昼間人口流入は地域の発展にはつながらない。流山市は「母になるなら流山」として子育て世代をひっぱり成功している。流山市とつくばはお互いを意識している。
- ・ 多様性を大事にしなが、人口を維持したい。色々な人がいないまちは朽ちていく。障害のある方も含め、社会は多様でなくてはならない。色々な人を呼び込んでいきたい。
- ・ つくばSDGSパートナーに加入して関わり方を見つけてほしい。SNSなどでつぶやき、思いをシェアして少しずつ広がっていけばよい。

アンケートの自由意見

- ・ つくば市に住んでいながら、つくば市への所属意識があまりなかった。今回参加して、より身近に感じだし、とても良い経験になった。
- ・ 学生から出た、まちのブランディングが「科学」に偏重しているという指摘は、文系学生として共感した。
- ・ Question drivenの教育を実現するための具体的な施策をもっと教えてもらいたかった。個人的には、「官民連携」が教育改革のカギとなるのではないかと考えている。
- ・ つくばがNYなどと並ぶのも素敵だと思うが、ほかの地域ともwin-winな未来があるといいと思った。

